

ベルギー

Kingdom of Belgium

	2016年	2017年	2018年
①人口：1,138万人（2018年1月）			
②面積：3万688km ² （2018年）			
③1人あたりGDP：4万6,724米ドル （2018年）			
④実質GDP成長率（%）	1.5	1.7	1.4
⑤消費者物価上昇率（%）	2.0	2.1	2.1
⑥失業率（%）	7.8	7.1	6.0
⑦貿易収支（100万ユーロ）	46	381	556
⑧経常収支（100万ユーロ）	△2,560	3,192	△5,934
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	15,103	16,673	17,487
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ、期末値）	1,185,793	1,134,870	1,087,237
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.9034	0.8852	0.8468

〔注〕⑦⑧：国際収支ベース、⑦財のみ
〔出所〕①②：ベルギー連邦政府統計局、③⑨⑩：IMF、④～⑧⑪：ベルギー国立銀行（NBB）

2018年のベルギーの実質GDP成長率は、前年と比べ純輸出の寄与度が後退したが、堅調な内需に支えられ1.4%となった。輸出入ともに堅調だった貿易は、輸出が輸入の伸びを上回り赤字が改善した。対内直接投資は、化学分野で設備投資が活発で、41億2,800万ユーロとプラスに転じた。対外直接投資は58億5,400万ユーロと前年から大きく減少したが、米国向けは好調だった。対日貿易では輸出が前年比9.1%増、輸入が12.1%増と双方向で拡大した。日本の対ベルギー直接投資額は10億6,600万ユーロと、前年から縮小した。

■経済成長の勢いが鈍化

2018年の実質GDP成長率は1.4%と前年の1.7%から減速した。内需（在庫変動を除く）の寄与度は1.4ポイント（前年比0.3ポイント増）と引き続き堅調だったが、純輸出の寄与度が0.3ポイント（前年比0.3ポイント減）と減速したことなどによる。

2018年のGDP成長率の内訳を産業別にみると、農林水産業が14.0%増と牽引し、企業向けサービスが好調だったサービス業が1.4%増と続いた。サービス業の中では情報通信が7.8%増と活発だったが、金融・保険が0.2%減、卸・小売り、輸送および宿泊・外食が0.1%減と、マイナス成長となった。2016年半ばから2017年半ばにかけて停滞していた製造業（建設業除く）は2018年は1.1%増（0.6ポイント増）となり、建設業も1.2%増（2.0ポイント増）とプラスに転じた。

2018年の失業率は6.0%で、2016年の7.8%、2017年の7.1%から改善が続いた。雇用主の社会保障費負担や個人所得税を軽減するといった政策が奏功し、雇用創出数が4年連続で堅調に推移したことが背景にある。雇用が最も進んだ部門は、企業向けサービス、商業活動、運輸、宿泊・飲食産業だった。他方、金融・保険産業では雇用者数の減少が続いた。

■輸出が堅調で貿易赤字が改善

2018年の貿易は、輸出が前年比8.8%増の2,938億7,200万ユーロ、輸入が7.4%増の2,978億3,800万ユーロとなった。貿易赤字は39億6,600万ユーロとなり、前年から32億8,900万ユーロ減少した。

輸出を品目別にみると、最大品目である化学工業品（構成比25.1%）が前年比18.4%増と大きく拡大、牽引した。主力製品の医薬品（9.6%）が10.3%増、有機化学品（9.2%）が30.8%と増加したことによる。続いて輸出額が大きい輸送用機器（11.2%）は2.1%増、機械・電気機器、同部品・付属品（10.5%）が8.1%増となった。他方、真珠・貴石・貴金属（5.3%）は10.4%減となり、7.0%減だった2017年に続き減少した。

輸出を国・地域別にみると、全体の69.7%を占めるEUは2,046億9,900万ユーロと、前年から7.3%増と拡大した。最大輸出相手国は前

表1 ベルギーの需要項目別実質GDP成長率

	2017年	2018年				2019年 Q1	
		Q1	Q2	Q3	Q4		
実質GDP成長率	1.7	1.4	1.5	1.4	1.5	1.2	1.2
民間最終消費支出	1.1	1.0	1.3	0.9	1.0	0.9	0.4
政府最終消費支出	0.4	0.9	1.1	1.0	0.8	0.6	0.4
国内総固定資本形成	1.8	2.9	2.7	1.6	2.2	5.2	4.2
財貨・サービスの輸出	5.0	3.6	2.6	3.3	5.1	3.3	3.4
財貨・サービスの輸入	4.3	3.3	2.4	2.8	4.4	3.4	2.9

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。

〔出所〕ベルギー国立銀行（NBB）

表2 ベルギーの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2017年		2018年		2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学工業品	62,241	73,710	25.1	18.4	55,716	64,152	21.5	15.1
医薬品	25,485	28,102	9.6	10.3	21,705	24,076	8.1	10.9
有機化学品	20,628	26,982	9.2	30.8	21,283	26,982	9.1	26.8
輸送用機器	32,349	33,027	11.2	2.1	36,273	36,066	12.1	△0.6
道路走行車両、同部品・付属品	30,904	30,987	10.5	0.3	34,598	35,048	11.8	1.3
機械・電気機器、同部品・付属品	28,416	30,726	10.5	8.1	36,519	37,087	12.5	1.6
原子炉・ボイラー・機械類、同部品	19,106	21,197	7.2	10.9	23,102	23,510	7.9	1.8
電気機器	9,310	9,529	3.2	2.3	13,418	13,577	4.6	1.2
鉱物性生産品	22,459	26,516	9.0	18.1	37,515	46,838	15.7	24.9
金属及び金属加工品	23,838	26,130	8.9	9.6	21,131	22,604	7.6	7.0
鉄鋼	12,237	13,709	4.7	12.0	8,204	9,417	3.2	14.8
プラスチック・ゴム、同製品	22,473	24,297	8.3	8.1	14,442	14,578	4.9	0.9
調理済み食料品、飲料・アルコール、たばこ	16,467	17,506	6.0	6.3	12,016	12,145	4.1	1.1
真珠・貴石・貴金属	17,544	15,712	5.3	△10.4	15,204	14,969	5.0	△1.5
光学・精密機器	8,315	8,454	2.9	1.7	8,331	8,476	2.8	1.7
動物・動物性生産品	7,669	7,900	2.7	3.0	6,909	6,894	2.3	△0.2
繊維、同製品	6,534	6,951	2.4	6.4	7,296	7,611	2.6	4.3
植物性生産品	6,167	6,119	2.1	△0.8	8,509	8,480	2.8	△0.3
合計 (その他含む)	270,041	293,872	100.0	8.8	277,296	297,838	100.0	7.4

〔注〕 EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

〔出所〕 ベルギー国立銀行 (NBB)

表3 ベルギーの主要国・地域別輸出入

(単位100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2017年		2018年		2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	190,825	204,699	69.7	7.3	195,500	207,900	69.8	6.3
ユーロ圏合計	151,838	164,701	56.0	8.5	164,235	175,926	59.1	7.1
ドイツ	45,412	52,106	17.7	14.7	41,189	40,999	13.8	△0.5
フランス	39,106	40,241	13.7	2.9	29,379	30,614	10.3	4.2
オランダ	31,383	33,619	11.4	7.1	55,551	62,087	20.8	11.8
イタリア	12,497	13,576	4.6	8.6	10,964	11,369	3.8	3.7
スペイン	7,281	7,826	2.7	7.5	6,327	6,489	2.2	2.6
ルクセンブルク	5,283	5,734	2.0	8.5	2,369	2,003	0.7	△15.5
オーストリア	2,565	2,728	0.9	6.3	1,550	1,695	0.6	9.3
非ユーロ圏合計	38,987	39,999	13.6	2.6	31,265	31,974	10.7	2.3
英国	19,728	19,751	6.7	0.1	13,056	13,402	4.5	2.6
ポーランド	6,229	6,467	2.2	3.8	3,648	4,117	1.4	12.8
スウェーデン	4,947	4,817	1.6	△2.6	6,076	6,012	2.0	△1.1
チェコ	2,427	2,623	0.9	8.1	3,409	3,433	1.2	0.7
デンマーク	1,928	2,085	0.7	8.1	1,149	1,156	0.4	0.6
アジア・大洋州	25,299	25,985	8.8	2.7	27,508	29,701	10.0	8.0
インド	7,593	7,665	2.6	0.9	3,152	3,411	1.1	8.2
中国	6,439	6,094	2.1	△5.3	7,173	7,780	2.6	8.5
日本	2,537	2,769	0.9	9.1	6,684	7,495	2.5	12.1
香港	1,929	1,991	0.7	3.2	546	694	0.2	27.1
韓国	1,158	1,412	0.5	21.9	1,533	1,476	0.5	△3.7
米国	14,924	17,331	5.9	16.1	14,977	16,524	5.5	10.3
カナダ	1,907	2,670	0.9	40.0	1,945	1,974	0.7	1.5
湾岸諸国会議 (GCC)	5,032	5,135	1.7	2.0	4,182	5,513	1.9	31.8
UAE	3,312	3,135	1.1	△5.3	2,084	2,280	0.8	9.4
スイス	4,392	4,376	1.5	△0.4	3,726	4,414	1.5	18.5
トルコ	3,464	3,856	1.3	11.3	2,920	2,906	1.0	△0.5
ロシア	2,734	2,870	1.0	5.0	7,054	7,684	2.6	8.9
合計 (その他含む)	270,041	293,872	100.0	8.8	277,296	297,838	100.0	7.4

〔注〕 ①アジア・大洋州は、ASEAN+6 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) に香港、台湾を加えた合計値。

②EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

〔出所〕 ベルギー国立銀行 (NBB)

年に続きドイツ (構成比17.7%) で14.7%増となった。ドイツ向け主力製品の中で伸び率が高かったのは、有機化学品を中心に45.9%増となった化学工業品 (35.3%) だった。鉱物性生産品 (7.5%) も21.6%増と輸出拡大に貢献した。2位の輸出相手国であるフランス (13.7%) は前年比2.9%増にとどまったが、オランダ (11.4%)、イタリア (4.6%) は、それぞれ7.1%増、8.6%増と、堅調に推移した。

EU域外で最大の輸出相手国である米国 (構成比5.9%) は、2017年は前年比8.3%減と落ち込んだが、16.1%増と回復した。化学工業品 (53.8%) が21.8%増となり、機械・電気機器 (12.7%) も10.0%増と貢献した。アジア大洋州 (8.8%) で最大の輸出先であるインド (2.6%) は、真珠・貴石・貴金属 (76.0%) が7.5%減となったが、機械・電気機器 (7.5%) が88.2%増、化学工業品 (6.8%) が34.0%増となった結果、全体で0.9%増。過去数年間に輸出を拡大していた中国 (2.1%) は、化学工業品 (29.1%) が18.6%減、輸送機器 (9.0%) が26.2%減となり、全体で5.3%減とマイナスに転じた。

■輸入も拡大、化学工業品が牽引

輸入を品目別にみると、最大輸入品目である化学工業品 (21.5%) が前年比15.1%増と牽引した。有機化学品 (構成比9.1%) が26.8%増、医薬品 (8.1%) が10.9%増となったことによる。続く鉱物性生産品 (15.7%) も24.9%増と大きく拡大した。一方、輸送用機器 (12.1%) は0.6%減とわずかに縮小した。

輸入を国・地域別にみると、全体の69.8%を占めるEUが前年比6.3%増と拡大した。最大の輸入相手国であるオランダ (構成比20.8%) は、鉱物性生産品 (39.5%) や化学工業品

(11.6%) が、それぞれ24.8%増、16.2%増となり、全体で11.8%増となった。2位のドイツ(13.8%)は、主要輸入品目の化学工業品(17.1%)が5.4%増と拡大したものの、輸送用機器(19.7%)や機械・電気機器(17.0%)が、それぞれ8.1%減、3.7%減となった結果、全体で0.5%減となった。

EU域外で輸入が大きかったのは、米国(5.5%)、中国(2.6%)、ロシア(2.6%)、日本(2.5%)だった。米国は、主要品目の化学工業品(43.0%)が前年比12.6%増と拡大し、輸入全体で10.3%増となった。中国は、主要輸入品目の化学工業品(13.5%)が28.7%増、繊維、同製品(12.9%)が21.7%増となって、全体で8.5%増加した。

■対内直接投資は、化学分野での設備投資が活発

2018年の対内直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)は41億2,800万ユーロと、前年の51億1,400万ユーロの引き揚げ超過からプラスに転じた。

国・地域別にみると、フランスからの投資が79億8,500万ユーロと最多で、米国、ノルウェーが続いた。EU諸国は、ルクセンブルク(マイナス59億1,600万ユーロ)を筆頭に引き揚げ超過が目立った。

2018年以降の個別事例では、英国イネオスが2019年1月、30億ユーロを投じてアントワープ港にプロパン脱水素プラントなどを新設することを発表した。欧州化学産業分野への投資額としては過去20年間で最高だという。また、ドイツのコベストロが2018年10月、3億ユーロを投資してアントワープ港敷地内へのアニリン生産設備を新設すると発表したほか、ルクセンブルクのアルセロール・ミタルが2018年6月、1億5,000万ユーロを投資して、ゲント工場内へ排ガスのバイオエタノール転換設備を新設すると発表するなど、化学分野での投資の動きが活発だった。化学分野以外では、デンマークのDSVが2018年10月、ゲントに病院・薬局など向けのヘルスケア製品用のロジスティックセンターを開所した。

M&Aでは、フランス製薬大手サノフィが2018年6月に、39億ユーロで抗体医薬を手掛けるアブリックスの買収を完了した。英国バミューダ諸島のアソラ・ホールディングは2019年1月、イタリアの同業ゼネラルから、5億4,000万ユーロでベルギー事業会社であるゼネラル・ベルギーの買収を完了した。

■対外直接投資は大きく減少、米国向けは好調

2018年の対外直接投資は58億5,400万ユーロと、前年の214億7,600万ユーロから大きく減少した。

表4 ベルギーの国・地域別対内・対外直接投資
<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位: 100万ユーロ)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2017年 金額	2018年 金額	2017年 金額	2018年 金額
欧州	△12,492	△6,026	17,100	△18,758
EU	△10,348	△9,126	17,932	△18,378
ユーロ圏	△7,931	△648	31,698	△5,065
フランス	△9,440	7,985	3,458	4,940
フィンランド	△1,855	1,243	44	△41
オーストリア	△733	876	△370	△77
スペイン	532	819	△67	793
ポルトガル	△91	46	△284	n.a.
ドイツ	△6,795	△1,338	114	△102
イタリア	△1,403	△2,268	687	1,164
オランダ	△3,255	△5,131	5,364	△7,894
ルクセンブルク	12,207	△5,916	21,150	△5,239
デンマーク	417	n.a.	144	30
チェコ	△1,127	n.a.	665	319
スウェーデン	△4,611	△2,812	1,113	146
英国	1,361	△2,843	△16,914	△14,604
非EU	△2,144	3,100	△832	△380
ノルウェー	△514	5,060	△55	62
スイス	△1,647	△2,103	△311	△936
アジア	676	2,087	627	△222
日本	1,495	1,066	△342	△467
香港	△76	318	△93	n.a.
中国	267	221	△36	△42
米州	6,513	7,661	2,187	24,893
米国	6,056	7,220	△2,169	24,686
ブラジル	625	1,455	29	24
アフリカ	△182	189	532	349
大洋州・極地圏	316	236	1,030	△408
合計(その他含む)	△5,114	4,128	21,476	5,854

[注] n.a.は非公表

[出所] ベルギー国立銀行(NBB)

国・地域別にみると、米国への投資額が最も大きく、246億8,600万ユーロと、前年の21億6,900万ユーロの引き揚げ超過からプラスに転じた。他方、英国は146億400万ユーロの引き揚げ超過と、前年に続きマイナスとなった。

2018年の個別投資事例としては、食品大手グリーンヤードが5月、インド合弁会社マヒンドラ・グリーンヤードを通じて、デリーに小売向け生鮮食品の流通センターを開所。化学メーカーのソルベイは9月、英国レクサムに、航空宇宙産業向け構造用接着剤と表面フィルムの最先端の製造センターを開設した。

M&Aでは、医薬品プロメセラが4月に同業バリオファルマを買収、菓子を製造・販売するロータスが7月に英国の同業キデイリシウスを買収した。建材メーカーのラバゴは2018年中に、米国ダウの欧州の押出ポリスチレン断熱材事業の買収を完了した。

■対日貿易、輸出入は共に拡大

2018年の対日輸出は前年比9.1%増の27億6,900万ユーロ、輸入は12.1%増の74億9,500万ユーロと、共に拡大し

表5 ベルギーの主な対内直接投資案件（2018年～）

<M&A以外>

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
化学	イネオス	英国	2019年1月	30億ユーロ	アントワープ港にプロパン脱水素プラントとエタンクラッカーのユニットを新設すると発表。2024年までの稼働を目指す。
ロジスティクス	商船三井	日本	2018年9月	4億ユーロ ※段階的なタンク増設を含む投資総額	商船三井の100%子会社であるシンガポールのMOLケミカルタンカーズは、ベルギーのタンク・ターミナル・アントワープとともに、アントワープに株式会社（シー・モール）を設立したと発表（持ち株率49%）。アントワープ港でのケミカルタンクターミナルの建設、2021年半ばの営業開始を目指す。
化学	日本触媒	日本	2018年10月	3億5,000万ユーロ	アントワープの子会社の敷地内に、紙おむつの原料として需要が伸びている高吸水性樹脂とアクリル酸をそれぞれ年間10万トン生産する設備を建設した。
化学	コベストロ	ドイツ	2018年10月	3億ユーロ	アントワープ港の敷地内にアニリンの生産設備を新設すると発表。2022年稼働予定。
鉄鋼	アルセロール・ミタル	ルクセンブルク	2018年6月	1億5,000万ユーロ	ゲント工場の敷地内で、高炉で排出されたガスをバイオエタノールに転換する新設備の工事を開始。
ロジスティクス	DSV	デンマーク	2018年10月	非公表	ゲントに、病院・薬局など向けのヘルスケア製品用のロジスティックセンターを開所。
化学	カネカ	日本	2018年1月	1,500万ユーロ	2017年5月に、ウェステルローへの変性シリコンポリマーの生産強化のため、3,400万ユーロを投じて2018年末に生産ライン含む新設備をフル稼働させると発表したカネカは2018年1月、ポリオレフィン・フォームの生産強化のため、さらに1,500万ユーロを投入し追加生産設備を2019年初旬にオープンすると発表。
通信	ファーウェイ	中国	2019年3月	非公表	ブリュッセルにサイバー・セキュリティ・トランスパレンシーセンターを開所。政府機関、専門家、業界団体に対し、セキュリティと開発のバランスをとるための交流・協働が可能なプラットフォームを提供する。
化学	ボレアリス	オーストリア	2018年10月	非公表	アントワープ工場内にプロパン脱水素プラントを新設すると発表。2022年前半に稼働開始予定。

<M&A>

業種	被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍	国籍			
医薬品	アブリンクス	サノフィ	フランス	フランス	2018年6月	39億ユーロ	製薬大手サノフィが、抗体医薬を手掛けるアブリンクスの買収を完了。
医薬品	ゼネラリ・ベルギー	アソラ・ホールディング	英国（バミューダ諸島）	英国（バミューダ諸島）	2019年1月	5億4,000万ユーロ	保険のアソラ・ホールディングは、イタリアの同業ゼネラリから、ベルギーでの事業会社であるゼネラリ・ベルギーの買収を完了。
医薬品	タイジェニックス	武田薬品	日本	日本	2018年7月	5億2,000万ユーロ	ニーズの高い、炎症性腸疾患（IBD）への対応を強化するため、タイジェニックスの完全子会社化を完了。
自動車販売（オンラインオークション）	カーズ・オン・ザ・ウェブ	ケーエー・オール・オークション・サービス	米国	米国	2018年11月	9,100万ユーロおよび条件・業績次第で最大6,500万ユーロの追加支払い	ケーエー・オール・オークション・サービスは、欧州の自動車卸売部門向けサービスを提供するカーズ・オン・ザ・ウェブの買収で合意したと発表。欧州での事業展開を強化する。
セキュリティ関連製品	ティクト	ライトクラウド	オーストラリア	オーストラリア	2018年11月	1,420万ユーロ	ライトクラウドはウェアラブルの安全装置を販売するティクトと、その米国完全子会社の株式をそれぞれ100%取得することで合意したと発表。
航空関連機材	アスロ	スピリット・アエロ・システムズ	米国	米国	2019年3月	非公表	航空機関連機材を提供するスピリット・アエロ・システムズは、同業アスロの買収に当たり、EU当局から承認を得たと発表。
化学流通	アルファマイン	ブレンタグ	ドイツ	ドイツ	2018年8月	非公表	化学流通大手ブレンタグは、同業アルファマインおよびその米国子会社の買収を完了。材料化学分野での取組みを強化する。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

た。対日輸出では、主要品目の化学工業品（構成比40.8%）が20.8%増、続く輸送用機器（16.9%）も10.3%増と拡大した。一方、機械・電気機器（9.6%）は3.1%減、光学・精密機器（9.3%）は22.9%減となり、輸出全体の伸びを抑制した。

対日輸入を品目別にみると、輸送用機器（構成比60.5%）が14.7%増、機械・電気機器（18.0%）が17.8%増と堅調に拡大した。

■日本の対ベルギー投資はロジスティクス、エネルギー分野が目立つ

2018年の日本の対ベルギー直接投資額は10億6,600万

ユーロと、2017年の14億9,500万ユーロから縮小したがアジアでは最大で、国別では6位となった。

2018年の個別投資事例をみると、「石油化学クラスター」と称して積極的に化学産業を誘致しているアントワープ港周辺への化学分野での投資が活発だった。

商船三井の100%子会社であるシンガポールのMOLケミカルタンカーズは9月、アントワープ港でのケミカルタンクターミナルの運営を目指し、ベルギーのタンク・ターミナル・アントワープとともに株式会社シー・モールを設立した。投資総額は最大4億ユーロとなる見込み。日本触媒は10月、3億5,000万ユーロを投じて、ベルギー子会社のアントワープの敷地内に高吸水性樹脂とアクリル酸の

表6 ベルギーの主な対外直接投資案件（2018年～）

<M&A以外>

業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
素材	ユミコア	ポーランド	2018年6月	6億6,000万ユーロ	チェコとの国境沿いにあるポーランド南部ニサに、欧州市場向け電気自動車のバッテリー用素材（カソード材料）の工場を建設すると発表。400人の雇用を見込み、2020年に稼働予定。
衛生用品	オンテックス・グループ	ポーランド	2019年2月	1,600万ユーロ	ラドムスコに東欧市場向けの新工場の第1製造ラインを開設。さらに3ライン増設予定で、2020年までに170人以上を雇用。
医療機器・装置	イオン・ビーム・アプリケーションズ	インド	2019年1月	非公表	チェンマイに陽子線を用いた癌の治療センターを開所し、南アジアで初めて患者に陽子線治療を行ったと発表。
素材	ユミコア	韓国	2018年12月	非公表	ヒュンダイを含む韓国自動車メーカへの燃料電池用触媒の供給を強化するため、ソウル近郊の既存の技術開発センター近くに新工場を建設し、2019年末に稼働開始すると発表。
医薬品	プロメセーラ	日本	2018年5月	非公表	肝疾患の治療薬を開発するプロメセーラが、細胞療法に積極的な日本と韓国をはじめとするアジア市場での長期的成長の足掛かりとして、東京に支社を創設。
半導体	メレキシス	ドイツ	2018年7月	非公表	センサーICやプログラマブルセンサーICシステムを提供するメレキシスは、デュッセルドルフにR&Dセンターを設置すると発表。
食品	グリーンヤード	インド	2018年5月	非公表	インドにおける合弁会社マヒンドラ・グリーンヤードが、デリーに小売向けのバナナなど生鮮食品の流通センターを開設。
化学	ソルベイ	英国	2018年9月	非公表	レクサムに、航空宇宙産業向けの構造用接着剤と表面フィルムの最先端の製造センターを開設。

<M&A>

買収企業 企業名	被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
	業種	企業名	国籍			
ファグロン	医薬品	フムコ	米国	2018年4月	3,860万ユーロ	ファグロンと同業フムコは、ファグロンによるフムコ買収について合意した旨を発表。
プロメセーラ	医薬品	バリオフィルマ	スイス	2018年4月	非公表	同業のバリオフィルマの買収を完了。革新的な抗体ベースの薬剤候補を得て、非アルコール性脂肪性肝炎などの治療改善に役立てる。
ロータス	食品	キディリシウス	英国	2018年7月	非公表	菓子を製造販売するロータスは、乳幼児向け菓子事業を行うキディリシウスの株式を100%買収を完了。
ラバゴ	建材	ダウ（欧州の押出ポリスチレン断熱材事業）	米国	2018年第4四半期	非公表	ダウの欧州の押出ポリスチレン断熱材事業の買収を完了。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

生産設備を建設した。さらに、郵船ロジスティクスは6月、医薬品ビジネスの拡大を見込みアントワープに医薬品倉庫を開所した。

エネルギー分野では、建設コンサルタントの日本工営が6月、エネルギー・マネジメントサービスを提供するベルギーのYUSOとともに、蓄電池を活用してベルギーで周波数調整サービスなどの共同プロジェクトを開発するため、特別目的会社ロイエン・エナジー・ストレージを設立した。また、住友商事が8月、洋上風力発電事業の開発運営にあたるパークウィンドがベルギー沖北海地域で開発中の発電施設ノースウェスター2の株式30%を取得し事業に参画した。

表7 ベルギーの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万ユーロ、%）

	輸出（FOB）				輸入（CIF）			
	2017年		2018年		2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学工業品	935	1,129	40.8	20.8	606	654	8.7	8.0
医薬品	597	758	27.4	27.1	180	188	2.5	4.2
有機化学品	194	188	6.8	△2.9	266	336	4.5	26.1
輸送用機器	425	468	16.9	10.3	3,951	4,532	60.5	14.7
自動車	423	467	16.9	10.4	3,929	4,531	60.5	15.3
機械・電気機器	274	266	9.6	△3.1	1,145	1,349	18.0	17.8
原子炉、ボイラー等	137	136	4.9	△0.9	607	786	10.5	29.5
電気機械・同部品	138	130	4.7	△5.2	538	563	7.5	4.6
光学・精密機器	335	258	9.3	△22.9	338	349	4.7	3.2
調製食料品、飲料・アルコール・食酢、たばこ	168	174	6.3	3.4	4	5	0.1	11.1
ココア・同調整品	62	67	2.4	8.2	0	0	0.0	△97.0
金属及び金属加工品	108	154	5.6	42.0	89	99	1.3	11.1
プラスチック・ゴム製品	94	104	3.8	11.2	442	412	5.5	△6.8
真珠・貴石・貴金属材料	30	55	2.0	86.2	10	10	0.1	△2.1
繊維製品	42	50	1.8	19.3	14	17	0.2	19.9
合計（その他含む）	2,537	2,769	100.0	9.1	6,684	7,495	100.0	12.1

〔出所〕ベルギー国立銀行（NBB）

ベルギー企業の対日投資事例をみると、肝疾患の治療薬を開発するプロメセーラが2018年5月、細胞療法に積極的なアジア市場を狙い東京支社を創設した。